

参考資料 3

教員の自己啓発に対する取組や今後の方向性について

県名	内 容
岐阜県	<p>校長が職員に対して実施する自己啓発面談を行っている。 その際に各学校の校長に、個々の教員の職務や課題に応じた研修を受講できるようアドバイスをしていただけよう働きかけている。 また、各高等学校には、面談に活用していただけるよう教員一人一人の研修履歴を送付している。</p>
三重県	<p>教職員の意欲的な自己活動の改善と研修機会の充実を図るため、“いつでも、どこでも、なんどでも”研修できる「ネットDE研修」(eラーニング)を実施している。 研修効果を高めるため、研修ニーズの掘り起こしや自校に戻ってからの活用度を調査(フォローアンケート)し、講座の改善に努めている。</p>
京都府	<p>京都府総合教育センターでは、教職員個々の意欲を大切に、ライフステージに応じた研修を計画的・継続的に受講できるようにするために、平成20年度より「単位制履修制度」を導入している。 また、教職員のライフステージ、興味・関心、職能に応じ、必要な内容を必要な時期に履修しやすいように、研修講座を「基礎・基本」「実践の推進」「実践の発展」の3グレードに設定している。</p>
山口県	<p>本センターでは、「自ら育つ教職員」の研さんを積極的に支援するため、「基本研修・専門研修・支援研修」の3つの研修を行っている。 ○支援研修では、教職員一人ひとりの自主的・主体的な研修をサポートする「スキルアップ研修土曜日プラン」を行っている。 ○具体的には、「自己啓発サポート研修」「基礎から学ぶ授業づくり」「基礎から学ぶワークショップ」など17講座を開講している。</p>
愛媛県	<p>自己啓発に対する研修の機会としては、土曜日に開講している自主的参加によるホリデーチャレンジセミナーと若者育成塾を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ホリデーチャレンジセミナー <ul style="list-style-type: none"> ・教職員としての基本的な知識や技能を高めることを目指している。 ・平成24年度は19講座開催 (簡単に作ることができる化石模型、学校で使える心理技法 など) ○若者育成塾 <ul style="list-style-type: none"> ・教職経験2年目から5年目までの若い教員が、自主的・継続的な研修を通して、教職に対する情熱・使命感を高めるとともに、教師としての指導技術の向上を図ることを目指している。 ・平成24年度は8回開催(社会から求められる教員とは、保護者対応の在り方 など)